

実績報告書

届出者	住所	大阪市西区南堀江三丁目 16番30号	氏名	寶船冷蔵株式会社 代表取締役社長 中井 宏
特定事業者の主たる業種		47倉庫業		
該当する特定事業者の要件		レ 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者 大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者		
事業の概要		主に、冷凍水産物・水産加工品・畜産物・畜産加工品・農産物・農産加工品・冷凍食品 その他食料品の冷蔵保管を行っており、大阪市内で本社ビル、工場として港・南港の2 事業所で行っている。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2019年	4月	1日	～	2022年	3月31日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2018)年度	前年度(2019)年度
温室効果ガス総排出量	4,177 t-CO ₂	4,171 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	4,499 t-CO ₂	4,488 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2021年度)	第1年度 (2019年度)	第2年度 (2020年度)	第3年度 (2021年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	%	%	%
		削減率(原単位ベース)	3.1%	-4.7%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.1%	-4.6%	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(建物床延べ面積)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

工場事業所において、昼間の電気使用量を夜間へ移行し、電気需要平準化時間帯の電気使用量の削減を実施しています。冷蔵倉庫入口のフロアヒーター運転時間を昼間から夜間へ移行し、電気需要平準化時間帯の電気使用量の削減を実施しています。港工場(ラック館)において冷却設備運転電力平準化プログラムにおいて電力平準化を実施しています。南港工場(本館)蛍光灯器具(64台)をLED化。基準年度に一事業所で台風21号の被害により稼働率が低下、また、他の一事業所で同年冷却設備更新の為、 電気使用量の減少、同年6月に一事業所の閉鎖、結果基準年度の原単位が減少した。2019年8月に台風21号の復旧工事完了し稼働率が上昇及び冷却設備更新完了に伴い稼働率上昇により削減率がマイナスと成りました
--

(2) 推進体制

本社及び各工場に省エネ担当者を置き省エネに関する講習会・説明会・見学会などへの積極的な参加を行っている。
--